

体育原理

人間健康学部 スポーツ健康学科 教授 **大峰 光博**



単位 2単位

開講 2024年度前学期

授業形式 講義

対象 スポーツ健康学科全学年

履修者数 93名

問すべての平均点 4.79

授業概要

体育・スポーツに顕在・潜在化する問題を、哲学的な観点から考察することによって、体育・スポーツに対して、多様な観点から考えられる力を高めることを目指す。具体的には、体育・スポーツにおける暴力の問題、ドーピングの問題、意図的ルール違反の問題などを取り上げつつ、体育・スポーツの存在意義について、哲学的に考察する。

体育やスポーツの矛盾を浮き彫りにする

高校からの学びを基礎としつつも、体育・スポーツの「当たり前」を論理的・批判的に検討し、これまでのスポーツ観をアップデートする授業を心がけている。

担当教員からのポイント

Point1：現在進行形の体育・スポーツの問題に取り組む

運動部活動における体罰、トップスポーツにおけるドーピング、スポーツと差別など、現在進行形で生じている問題に、様々な哲学者が示した観点を手掛かりにアプローチする。

Point2：人気漫画・アニメのストーリーを授業内容に組み込む

スポーツの倫理的問題を、「ワンピース」「NARUTO」「スラムダンク」といった漫画のシーンとリンクさせ、理解を深める。

Point3：養護教諭志望の学生も対象としている

体育に限定されない学校の問題にアプローチするため、保健体育教員を志望する学生だけでなく、養護教諭を志望する学生も受講してもらいたい内容になっている。

履修学生・授業コメントからのポイント



履修学生からのインタビューより

Point1：実例を沢山取り入れた考えさせられる工夫

授業では、実例を取り入れたり、わたしたちと比較してみたりとただ聞くだけというよりは、勝手に考えさせられてるかのよう想像が膨らむような授業でした。やはり、好奇心が常に掻き立てられる内容は、受講していて時間もあっというまに過ぎ、学びはもちろんの事、受講していてとっても楽しかったです。

Point2：これまでの考えが180度変わる深い視点

「体育原理」は学生が持つ体育やスポーツに関するイメージを一転させる授業であった。例えば、スポーツは残酷ではないか？ドーピングや体罰は本当に悪いと言えるのか？生徒・学生がルールの盲点について相手に勝つことは批判されることなのか？などを学生に問うた。そして、哲学者やスポーツ関係者の著作・発言や実例をとりあげ、視野を広げ、視点を変えること、批判的に思考する重要性を気づかせる非常に有意義な授業であった。



授業評価コメントより

Point1：体育・スポーツの今まで気づかなかったことを、知れたので良かった。

Point2：難しい言葉や理解するのに時間がかかる内容を、伝わるように説明してくれて助かった。

Point3：毎回の授業が面白く、新たな視点を知ることができた。